

| | | | | |
|---------------------|--------------------------|------------|-----|-----|
| 国 労 本 部 電 送 № 1 9 5 | 発信日 2 0 2 0 年 3 月 3 日 | 発 信 青年部 | 責任者 | 受領者 |
| | | | | |

指 示 第 61 号
2020 年 3 月 3 日

エリア本部
各 地 方 本 部
青 年 部 中 央 常 任 委 員
執行委員長・青年部長 殿

国 鉄 労 働 組 合
中央執行委員長 松川 聡
青年部長 木村 洋希

2019 年度青年部中央常任委員会の成立について

本部青年部は 2020 年 3 月 3 日、東京港区新橋において、第 103 回青年部中央委員会を開催する中、組織拡大の先頭に青年部が立つと全体で確認し、JR 職場の労働条件改善、国民春闘勝利の当面する活動方針を確立した。

新中央常任委員は、3 月 3 日に第 1 回常任委員会を開催し、下記の通り常任委員の任務配置について決定し、青年部運動の団結強化・発展に向けその先頭に立ち、闘うことを確認したので連絡する。

記

1. <新中央常任委員会体制>

青年部長 木村 洋希 (東京・新)
副 部 長 香川 博明 (近畿・新)
常任委員 工藤 拓真 (静岡・新)
常任委員 山中 和也 (近畿・新)

2. <新常任委員の任務配置>

青年部長 木村 洋希 (総括)
副 部 長 香川 博明 (総括補佐)
常任委員 工藤 拓真 (組織担当)
常任委員 山中 和也 (教宣部長)

以 上

委員会宣言

本日、我々国労青年部はTKP新橋汐留ビジネスセンターにおいて第103回青年部中央委員会を開催し、今日までの闘いと活動を総括し一年間の闘う方針を確立し、決意を固めあった。

最重要課題である組織の拡大・強化は、「闘争指令1号」に則り「願望ではなくやりきる課題」として意志統一し、一人一人が全力で奮闘をしてきた。JR職場だけでなく関連会社で働く青年労働者の労働条件の改善、組織の拡大に向けて取り組みを強化してきた。全青年部員が各運動の先頭に立ち、組織拡大運動に全力をあげるとともに親組合員を動かし、職場闘争の強化をしていかななくてはならない。国労への期待と共感、拡大の条件が拡がり、毎年のように全国で青年が加入を決意している。国労の正義の旗に結集し積極的に学習会や交流会を開催するなど、「組織拡大全国統一行動」の先頭に立って国労加入を訴えていくことが求められている。

安倍政権は、特定秘密保護法、戦争法、共謀罪などの法案を数の力で強行成立させ、憲法9条の改憲など、「戦争する国づくり」へ突き進もうとしている。「アベノミクス」によって大企業は、史上空前の内部留保を積み増す一方、「貧困と格差」が拡大し、個人消費の低迷による消費不況が続くなど、国民の暮らしと経済に大打撃を与えている。「働き方改革」と称して「残業代ゼロ法」「裁量労働の拡大」「解雇の金銭解決」など「企業が世界で一番活動しやすい国」をめざしている。「原発再稼働反対」「TPP推進反対」「労働法制改悪阻止」など、国民立憲主義に基づく議会政治と平和憲法に立脚した国民主権の民主主義を取り戻すために、安倍政権打倒をめざすあらゆる勢力と共闘し、院内外での闘いを強めなければならない。

国労青年部として今日まで「平和行進」「フクシマ連帯キャラバン」などに取り組んできた。私たちはあらゆる仲間と連帯し、在日米軍基地の固定化を許さず新基地建設阻止、原発再稼働阻止、再生可能な自然エネルギーへの政策転換を求めて奮闘し、全国的な運動の強化に奮闘していく。

青年部は決定した方針に基づき、全国に点在する青年部員が互いに激励しあい、全国単一組織としての魅力をいかし、少数派から多数派への展望を切り開いていく。

安倍暴走政権の推し進める「憲法改悪」「消費税増税」「労働法制改悪」などに反対し、職場闘争強化での組織の拡大、労働条件改善、JRの安全輸送の確立、諸要求の実現、非正規労働者の正社員化、国民が主人公の新しい国政の実現をめざし全力を挙げ奮闘していく。

右、宣言する。

2020年3月3日

国鉄労働組合青年部
第103回青年部中央委員会